

第 93 号

2014年6月

ラ・ルーラ通信

<発行>
中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加甥田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



子ども一人一人の持ち味

中部学院大学短期大学部幼児教育学科 准教授
Dalrymple (ダーリンプル) 親子

大学時代は保育について学び、その後、幼稚園の現場で働いた私。赤ちゃんについてもイギリスの「赤ちゃん観察コース」というコースで、毎週赤ちゃん親子のお宅に訪問し、1時間観察させていただく、という学びをしてきた私。自分の子どもの育児は、きっとまあまあうまくできるだろうなんて思っていたのですが、一人目の息子が生まれたその日から、私は“一人の赤ちゃんを1日24時間365日世話をしている世の中のお母さんたちのすごさ”を痛感するばかりでした。

その一人目の息子—今はもう小学三年生ですが、彼は幼稚園時代、なかなか人の輪に入ることができない子どもでした。もちろん、私自身は彼と“楽しく幸せな”時間も共有したりしていましたが、この“人の輪に入ることができない”ことに関しては、私はかなりやきもき、いえ、もっと正直に言うとイライラしていました。1・2歳児の頃も、子育てサークル等の催しに行っても、部屋に入ろうとせず、私は入口のあたりを行ったり来たりしながら、何のために来たのだろうと心の中で思っていたりしていました。ただ、本人にこの気持ちを直接ぶつけるのは強すぎるだろうと感じていたので「忍」の一文字で、我慢をしながら彼の行動に付き合っていました。その一方で、なぜこの子は、他の子のように活動にスッと興味を持ったり、身体が反応していつの間にか楽しんでいる、と言う状況にならないのだろうかと考え続けていました。

ある日、「幼児の教育」の編集者の方の声掛けで、当時慶應義塾大学の小児科医であり、児童精神科医の渡辺久子先生とお話をする機会を得ました。彼女との話の中で我が息子の話になりました。すると、渡辺先生は「子どもにはいろいろなタイプの子がいるものね。スロースターターとか。」とにこやかにおっしゃいました。その時私は、自分が、子ども一人ひとり個性も違うし育ちも違う、と頭では分かっていたはずなのに、自分の子育ての中では全く見失っていたことに気づきました。そうか、息子はスロースターターだった、と改めて発見し、私とは別個の一人の人間として見ることができました。さらに、彼がスロースターターとして、周りをどんなふうに見ているのかしらと言うことに興味がわいてきました。

今、彼は何人かの友人と、本当に自分のしたい遊びを楽しんでするという体験の日々を送っているようで、日々、表情が自信に満ちてきて、生き生きしていくのを感じています。そんな姿を見ながら、あの時、少しでも忍耐をもって待ってよかったな、彼の持ち味に気づける時があったなと心から思います。その子その子の持ち味、それが、自分のイメージとかけ離れている場合も、「その子」にとっては大切な「その子自身」なんだと。



毎月開催の催し紹介



赤ちゃんサロン (0歳児親子)



今年も様々な催しがスタートしました。
0.1.2歳児各年齢毎の遊びの広場を始め、学生主催の「みんなで遊ぼう!」「ランチタイムコンサート」やママ向け講座「お母さんのためのリフレッシュ講座」も随時開催しています。

毎回参加の常連さんから、初めての方まで気楽に参加できる内容です。

にこにこ広場 (1歳児親子)



みんなで遊ぼう! (学生企画)



ランチタイムコンサート (学生企画)



げんき広場 (2歳児親子)



子育て実践プログラム



間近の子育て実践プログラムをお知らせします。お問い合わせ申し込みは「ラ・ルーラ」まで。

電話058-375-3605

6月11日(水) 11:00~

「子育てポイント 1・2歳児の 今、大事にしたいこと 大切にしたいこと」

(5月28日の講座が都合により変更となりました)

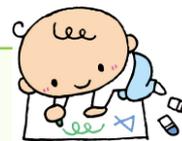
子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」 保育士 金田 環

赤ちゃんから少し大きくなった1歳半頃から少しずつ「あれ?いままでとは少し違う?」と戸惑うことはありませんか?ちょっとした子どもの仕草や様子をよく見ていると子育てのポイントが見えてきます。一緒に遊びながら子育てについておしゃべりしましょう。きっと何かが見えてきますよ。

6月27日(水) 11:00~

「子どものように描く ピカソのように描く」

子ども学科准教授 齋藤 亜矢



おとなのための「おえかき」ワークショップ。絵を描く、上手に描く。そんな概念をとりはらってもっと本質的な表現に挑戦してみませんか?お手本にすべきは子どもとピカソです。



子育て仲間 拡大中！ : お母さん方のかかわり



昨年度頃より、ラ・ルーラを利用してくださる方の中でパスポート（半年利用券）を購入される方が多くなり、どんどん子育て仲間が広がっているようです。

親しくなって何処かへ一緒に出掛けるだけではなく、ラ・ルーラ内で一人ポツンとしているママにもさりげなく声をかけ、いつの間にかおしゃべりが弾んでいるそんな光景をこの頃よく見かけます。

ある日のこと。「うああー可愛い赤ちゃん！何か月ですか？」「え… ああ… 4か月です。」と急な問いかけに戸惑いながらも次の「可愛いねえ。抱かせてもらってもいい？」との言葉に嬉しそうに赤ちゃんのママ。「ホントに可愛い。〇〇(自分の子)にもこんな時があったよね。」と周りのみんなにも会話が広がり、初めてのママもいつの間にか仲間入りしておしゃべりが弾んでいました。

また別の日の午後。午前中の賑わいから一転して静かなラ・ルーラに、初めていらした一組の親子さん。静かな室内でいろいろなおもちゃでしばらく遊び、場所に慣れてきたところにAちゃんママがさりげなく声をかけ、いつの間に意気投合。「へえ～校区(小学校区)も学年も一緒なんだね。」と楽しい会話の一部が聞こえてきたかと思えば「この『リフレッシュ講座』って何ですか？」「あっそれおもしろかったよ。」と反対に掲示板を見ながら初めてのママから話しかけられたり、とても楽しそうでした。



特に親しい仲間同士だけというのではなく、子どもを間に囲み、どんどん周りのママや子どもを巻き込んでいる光景を見ると、お母さん方のコミュニケーション能力は実に高く「素晴らしい」のひとことです。「子育て仲間」って凄い力だと感じると共に、大変な子育てを逆に楽しんでいるそんなお母さん方に敬意を表します。

この頃のラ・ルーラ、なかなかおもしろいですよ。

ラ・ルーラ夏祭り 開催予定！



7月20日(日)

17時30分頃～

「第2回ラ・ルーラ夏祭り」を開催します。今年も学生実行委員会を中心に昨年以上の催しをとはりきって準備中です。どうぞお楽しみに！



昨年度のチラシと手作りうち



玉ねぎ収穫！ ラ・ルーラ畑にて

5月の最終週(5/27～31)の5日間をかけてタマネギの収穫をしました。大小様々なタマネギを一人で引き抜いて得意げにママに見せる子・ママと一緒に引き抜いて満足そうにニッコリ笑っている子など年齢に応じてそれぞれ楽しそうで、延べ100人以上の親子さんで収穫することができました。

また「根っこのついたタマネギを一緒に洗って楽しみました。」
「その晩カレーライスをすぐに作って食べました。」などと次の日の報告も聞かせていただき楽しい会話も広がりました。

さて、次は畑に何を育てましょうか。





くら・ルーラ開設日 > 火・水・木・金・土曜日 (時間 10:00~16:00)



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

7月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2 げんき広場 10:45~11:30	3	4 12:50~ ランチタイム コンサート	5
6 休み	7 休み	8 12:50~ ランチタイム コンサート	9	10 10:45~ お母さんのための リフレッシュ講座	11	12
13 休み	14 休み	15 12:50~ ランチタイム コンサート	16 にこにこ広場 10:45~11:30	17 11:00~ 移動図書館 (読み聞かせ)	18	19
20 休み 夏祭り	21 休み	22	23	24	25 7月の誕生会 12:30~13:00	26
27 休み	28 休み	29	30	31 赤ちゃんサロン 10:30~11:30		

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

尚、各行事は定員 15~20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

7月の行事 * 内容紹介

2日 げんき広場 (2~3歳児対象)

戸外遊び & 作って遊べるおもちゃ作り

10日 お母さんのためのリフレッシュ講座

夏用帽子作り

16日 にこにこ広場 (1歳児対象)

親子ふれあい遊び(広いホールで動き回って遊びます。)

17日 移動図書館・読み聞かせ

図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

20日(日) 夏祭り (17:00頃~19:00頃まで : 予定)

(学生サークルが中心となって企画・進行をします)

25日 誕生会

7月生まれのお友達を みんなで祝います

31日 赤ちゃんサロン (0歳児対象)

親子ふれあい遊び & 交流

4・8・15・25日 ランチタイムコンサート

吹奏楽部員(学生)による ミニコンサート

日時・内容は変更になることもあります。ご了承ください。

